

# 農業経営財務分析システム 利用マニュアル

第1.0.0版

農林水産省 令和7年度経営発展・就農促進委託事業実施主体  
株式会社QUICK

# 農業経営財務分析システム利用マニュアル改訂履歴

No.	版	更新日	取組内容	更新者
1	1.0.0	2024/12/16	初版	システム設計・構築事業者

# 目次

目次.....	1
1 目的・概要 .....	2
2 本システム利用にあたって用意するもの .....	2
3 動作環境.....	2
4 利用方法.....	3
(1) 共通.....	3
(2) 法人経営.....	4
(3) 個人経営.....	9
5 財務指標の計算式.....	15
(1) 法人経営の財務指標.....	15
(2) 個人経営の財務指標.....	15
6 ランク区分の考え方 .....	17
(1) 法人経営のランク区分 .....	17
(2) 個人経営のランク区分 .....	18
7 用語解説.....	19
(1) 法人経営.....	19
(2) 個人経営.....	20

# 1 目的・概要

農業経営財務分析システムは、農業経営者の皆様が、自らの経営の財務状況を分析し、改善に取り組むことを支援することを目的としたオンライン・システムです。

ご自身の決算書に記載の主な財務データを入力することで、①収益性、②安全性、③効率性・生産性に関連する財務指標が計算できます。

あわせて、農林水産省の統計データを用いて、同じ営農類型に属する経営体の財務指標との自動比較が行われ、他の経営体との比較による5段階のランク（低位、やや低位、中位、やや高位、高位）を表示します。他の経営体データと比較することで、自身の経営状況が理解でき、経営改善の検討に役立てることができます。

## 2 本システム利用にあたって用意するもの

- (1) 法人経営：損益計算書、貸借対照表等
- (2) 個人経営：青色申告書等

※ 事前登録等の手続きは不要です。

## 3 動作環境

デバイスごとのOSおよび推奨ブラウザは下記の通りです。

デバイス		OS	ブラウザ
Windows PC		Windows10、11	Google Chrome
Mac		macOS 13以降	Safari、Google Chrome
タブレット	iPad	iPadOS 15以降	Safari
	Android	Android 13以降	Google Chrome
スマートフォン	iPhone	iOS 15以降	Safari
	Android	Android 13以降	Google Chrome

## 4 利用方法

### (1) 共通

#### トップ画面

#### 【STEP 1（共通）】

農業経営財務分析システムのトップ画面にある「分析スタート」をクリックします。



#### 経営形態の選択画面へ

#### 【STEP 2（共通）】

ご自身の経営にあわせ「法人」又は「個人」を選択します。



- ① 法人経営 ⇒ [法人経営用の利用マニュアルへ（P4～）](#)
- ② 個人経営 ⇒ [個人経営用の利用マニュアルへ（P9～）](#)

## (2) 法人経営

財務データ入力画面へ

### 【STEP 3（法人経営）】

ご自身の経営の営農類型を選択します。

農業経営財務分析システム					
財務データ入力（法人）					
【営農分類】 ?					
<input type="radio"/> 水田	<input type="radio"/> 畑作	<input type="radio"/> 果樹	<input type="radio"/> 露地野菜	<input type="radio"/> 施設野菜	<input type="radio"/> 露地花き
<input type="radio"/> 施設花き	<input type="radio"/> 酪農	<input type="radio"/> 繁殖牛	<input type="radio"/> 肥育牛	<input type="radio"/> 養豚	<input type="radio"/> 採卵鶏
<input type="radio"/> プロイラー					

### 【STEP 4（法人経営）】

ご自身の経営の基礎情報（資本金、従業員数）を入力します。従業員数は臨時雇用者を除いた数（有給役員数＋常用雇用者数）を入力します。

基本情報	
【資本金】 ?	千円
【従業員数 （臨時雇用除く）】 ?	人

### 【STEP 5（法人経営）】

貸借対照表を用いて自らの経営の財務データを入力します。

貸借対照表			
資産の部		負債の部	
【流動資産計】 ?	千円	【流動負債計】 ?	千円
【固定資産計】 ?	千円	【固定負債計】 ?	千円
【繰延資産】 ?	千円	純資産の部	
		【純資産計】 ?	千円

## 【STEP6（法人経営）】

損益計算書や製造原価報告書などを用いて自らの経営の財務データを入力します。

損益計算書		
【売上高】	?	千円
【売上総利益】	?	千円
【営業利益】	?	千円
【経常利益】	?	千円
【税引前当期純利益】	?	千円
【当期純利益】	?	千円

【減価償却費 （売上原価）】	?	千円
【減価償却費 （販管費）】	?	千円

## 【STEP7（法人経営）】

STEP4～6の入力情報が正しく入力されていることを確認した上で、「内容を確認する」をクリックします。

※「戻る」をクリックすると、経営体の選択画面に戻ります。それまで入力した数値は消えてしまいますのでご注意ください。

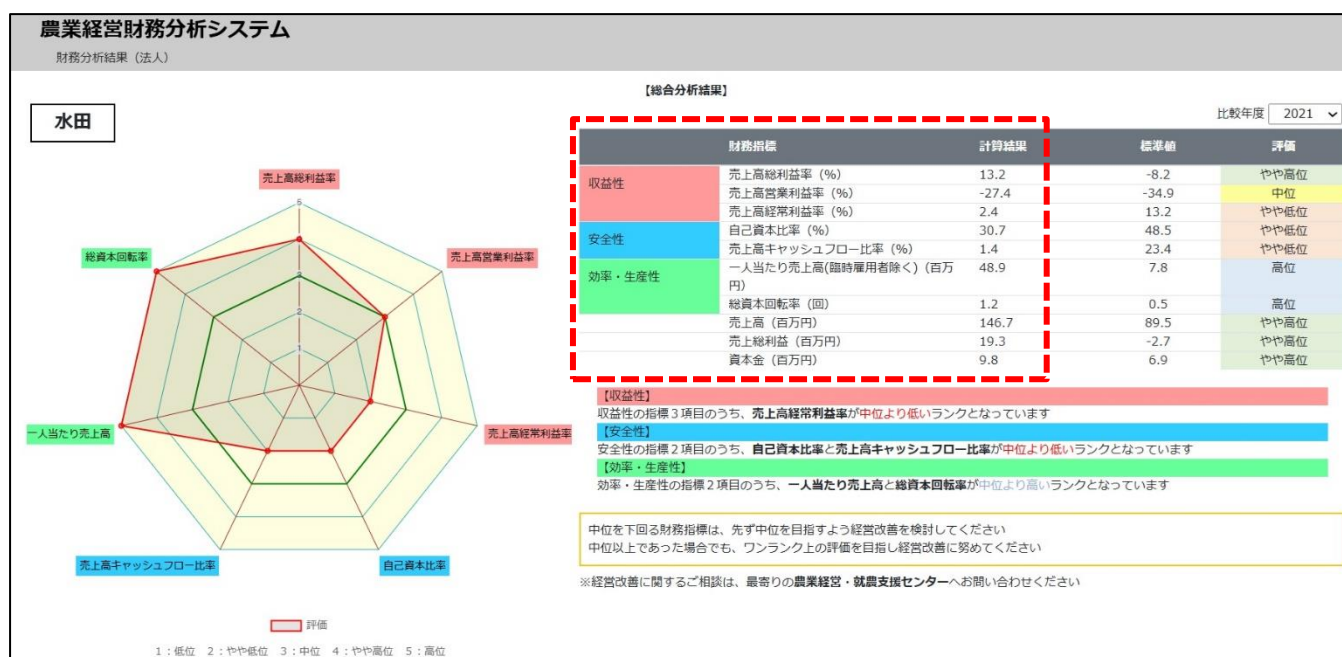
基本資訊				
工單編號	②	177	工單類別	②
			(類別代碼: 1)	人
作業人員資訊				
作業員姓名			作業員ID	
②	④	②	②	④
②	④	②	②	④
②	④	②	②	④
作業時間資訊				
作業開始時間			作業結束時間	177
②	④	②	②	
②	④	②	②	
②	④	②	②	
作業地點資訊				
作業地點			作業地點ID	④
②	④	②	②	
②	④	②	②	
②	④	②	②	
作業狀態資訊				
作業狀態			作業狀態ID	④
②	④	②	②	
②	④	②	②	
②	④	②	②	
作業人員資訊				
作業人員姓名			作業人員ID	④
②	④	②	②	
②	④	②	②	
②	④	②	②	
作業地點資訊				
作業地點			作業地點ID	④
②	④	②	②	
②	④	②	②	
②	④	②	②	

[内容を確認する >>](#)

## 総合診断結果の表示画面へ（法人経営）

### 【STEP9（法人経営）】

入力データから計算された、①収益性、②安全性、③効率性・生産性に関連する財務指標が表示されます。



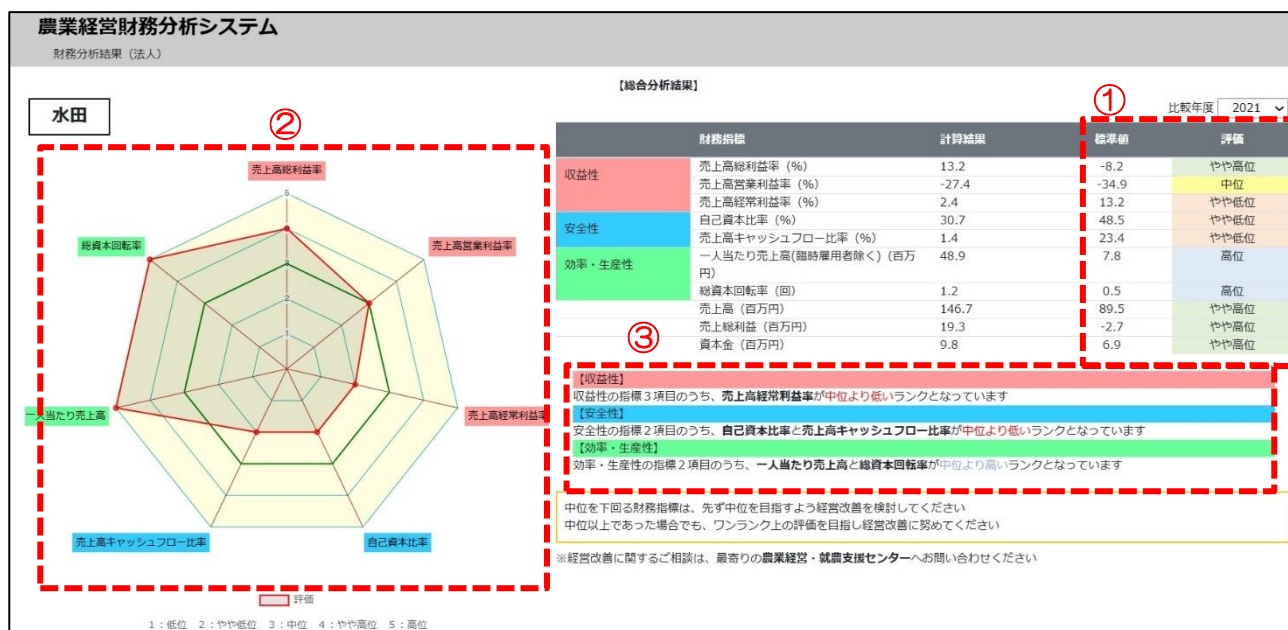
### 【計算される財務指標】

	財務指標	計算式	概要
収益性	売上高総利益率 (%)	売上 総 利 益 ÷ 売上 高 × 100	販売している商品の利益率を示す。粗利益率とも言う。数値が高いほうが良い。
	売上高営業利益率 (%)	営業利益 ÷ 売上高 × 100	本業の収益性を示す。数値が高い方が良い。
	売上高経常利益率 (%)	経常利益 ÷ 売上高 × 100	本業以外も含めた企業全体の収益性を示す。数値が高い方が良い。
安全性	自己資本比率 (%)	自己資本 ÷ 総資本 × 100	中長期の財務安全性を示す。一般的に 30%以上が望ましいとされ、低いと財務基盤が脆弱であることを意味する。
	売上高キャッシュフロー比率 (%)	(税引後当期純利益 + 減価償却) ÷ 売上高 × 100	資金面の余裕を示す売上高に対するフリーキャッシュフロー（自由に利用可能な資金）の割合を示す。
効率性・生産性	総資本回転率 (回)	売上高 ÷ 総資本	総資本をどれだけ効率的に活用しているかを示す。一般的に 1.0 以上が望ましいとされる。
	一人当たり売上高 (臨時雇用者除く) (千円)	売上高 ÷ 従業員数	従業員一人当たりどれだけ効率的に売上高を生み出しているかを示す。数値が高い方が良い。



また、農林水産省の統計データ（営農類型別経営統計：令和3年、令和4年）を用いて同じ営農類型に属する法人経営体の財務データとの自動比較が行われ、

- ① 他の経営体との比較による5段階のランク（低位、やや低位、中位、やや高位、高位）が表示されます。
- ② レダーチャートでも財務指標のランク区分を表示されます。
- ③ 収益性、安全性、効率・生産性の財務指標の簡単な診断結果が表示されます。



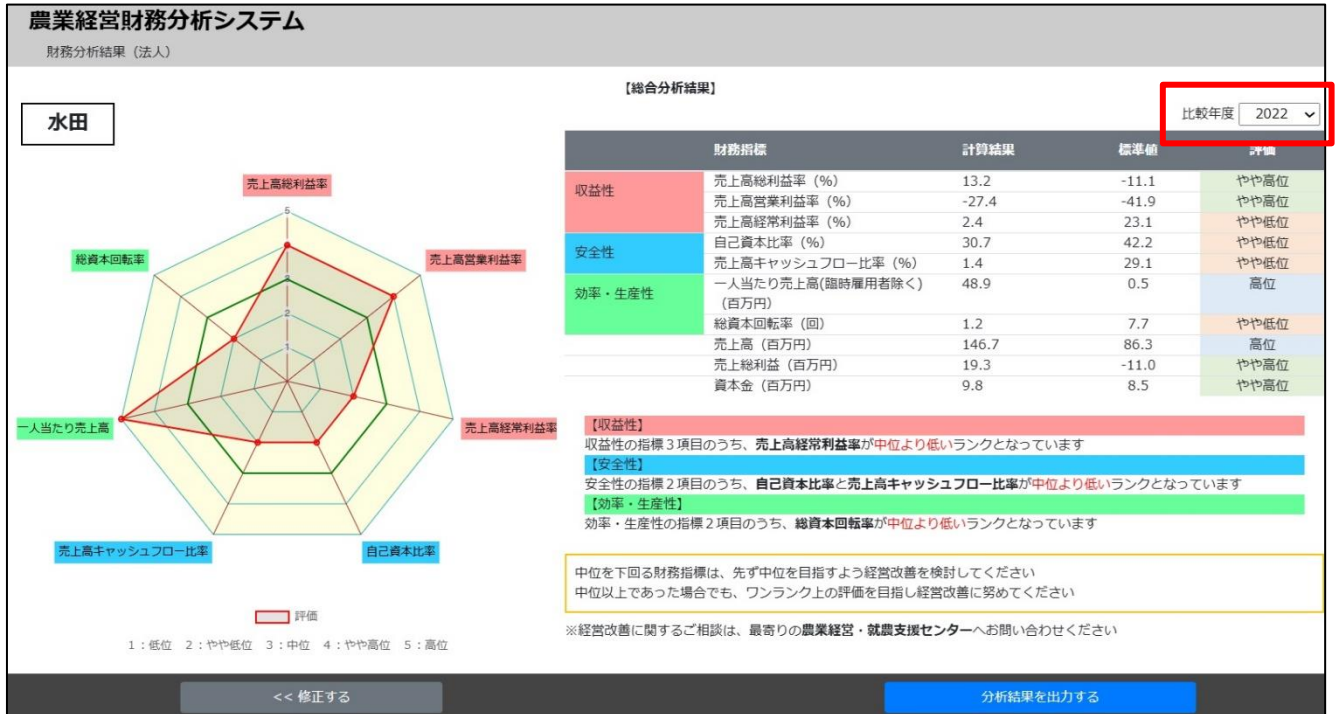
## 【ランク区分活用の際の留意点】

- 本ランク区分はご自身の経営を相対的に評価する目安としてご利用ください。
- 本ランク区分は特定年の統計データに基づくものであり、活用の際にはその年特有の状況も考慮する必要があります。
- 個々の農業法人の事業内容は様々であり、ランク区分が低いからといって必ず経営改善が必要ということではありません。

※ ランク区分の詳細な考え方については「[6. ランク区分の考え方](#)」を参照ください。

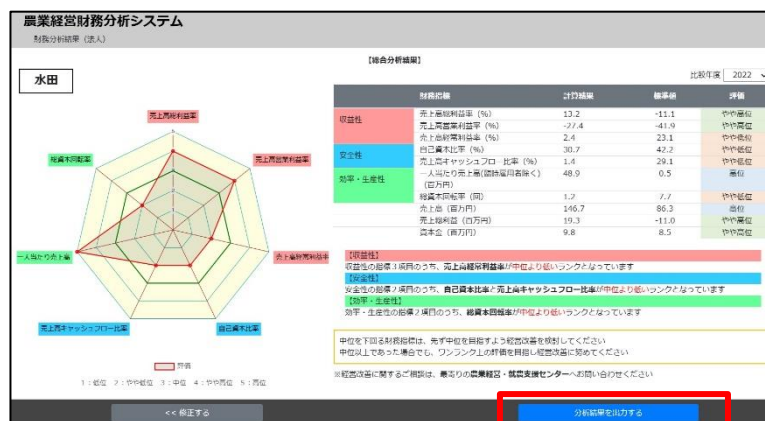
## 【STEP10（法人経営）】

ランク区分に用いる統計データを令和4年の農林水産省データに変更し、自身のランクを確認したい場合は、「比較年度」を「2022年」に変更します。



## 【STEP11（法人経営）】

「分析結果を出力する」をクリックするとPDFが出力されます。



分析結果を出力する

### (3) 個人経営

財務データ入力画面へ

#### 【STEP 3（個人経営）】

ご自身の経営の営農類型を選択します。

農業経営財務分析システム					
財務データ入力（個人）					
【営農分類】 ?					
<input type="radio"/> 水田	<input type="radio"/> 畑作	<input type="radio"/> 果樹	<input type="radio"/> 露地野菜	<input type="radio"/> 施設野菜	<input type="radio"/> 露地花き
<input type="radio"/> 施設花き	<input type="radio"/> 酪農	<input type="radio"/> 繁殖牛	<input type="radio"/> 肥育牛	<input type="radio"/> 養豚	<input checked="" type="radio"/> 採卵鶏
<input type="radio"/> プロイラー					

#### 【STEP 4（個人経営）】

ご自身の経営の基礎情報（資本金、事業従事者数）を入力します。従業員数は臨時雇用者を除いた数（経営者＋家族＋常用雇用者数）を入力します。

基本情報	
【農業従事者数（臨時雇用除く）】	? <input type="text"/> 人

## 【STEP5（個人経営）】

青色申告書の損益計算書を活用して自らの経営の財務データを入力します。

損益計算書									
科目		金額		単位	科目		金額		単位
収入金額	販売金額	?		千円	経費	作業用衣料費	?		千円
	実務消費	?		千円		農業共済掛金等	?		千円
	事務消費	?		千円		(共済掛金、価格補填負担金、収入保険の保険料等)	?		千円
	雑収入	?		千円		減価償却費	?		千円
	うち 農作業受託収入	?		千円		荷造運賃手数料	?		千円
	小計	?		千円		雇入費	?		千円
農産物の棚卸高	期首	?		千円	利子割引料	?		千円	
	期末	?		千円	地代・賃借料	?		千円	
	計	?		千円	土地改良費	?		千円	
経費	租税公課	?		千円	雑費	?		千円	
	種苗費	?		千円	その他	?		千円	
	素畜費	?		千円	小計	?		千円	
	肥料費	?		千円	農産物以外	?		千円	
	飼料費	?		千円	の棚卸高	?		千円	
	農具費	?		千円	期首	?		千円	
	農薬	?		千円	期末	?		千円	
	衛生	?		千円	経費から差し引く	?		千円	
	諸材料費	?		千円	果樹牛馬等の育成費用	?		千円	
	修繕費	?		千円	計	?		千円	
	動力光熱費	?		千円					

## 【STEP6（個人経営）】

貸借対照表を用いて自らの経営の財務データを入力します。

貸借対照表					
資産の部		負債・資本の部			
【資産計】	?	千円	【負債計】	?	千円
			うち 借入金	?	千円
			【純資産計】	?	千円

## 【STEP7（個人経営）】

STEP4～6の入力情報が正しく入力されていることを確認した上で、「内容を確認する」をクリックします。

※「戻る」をクリックすると、経営体の選択画面に戻ります。それまで入力した数値は消えてしまいますのでご注意ください。

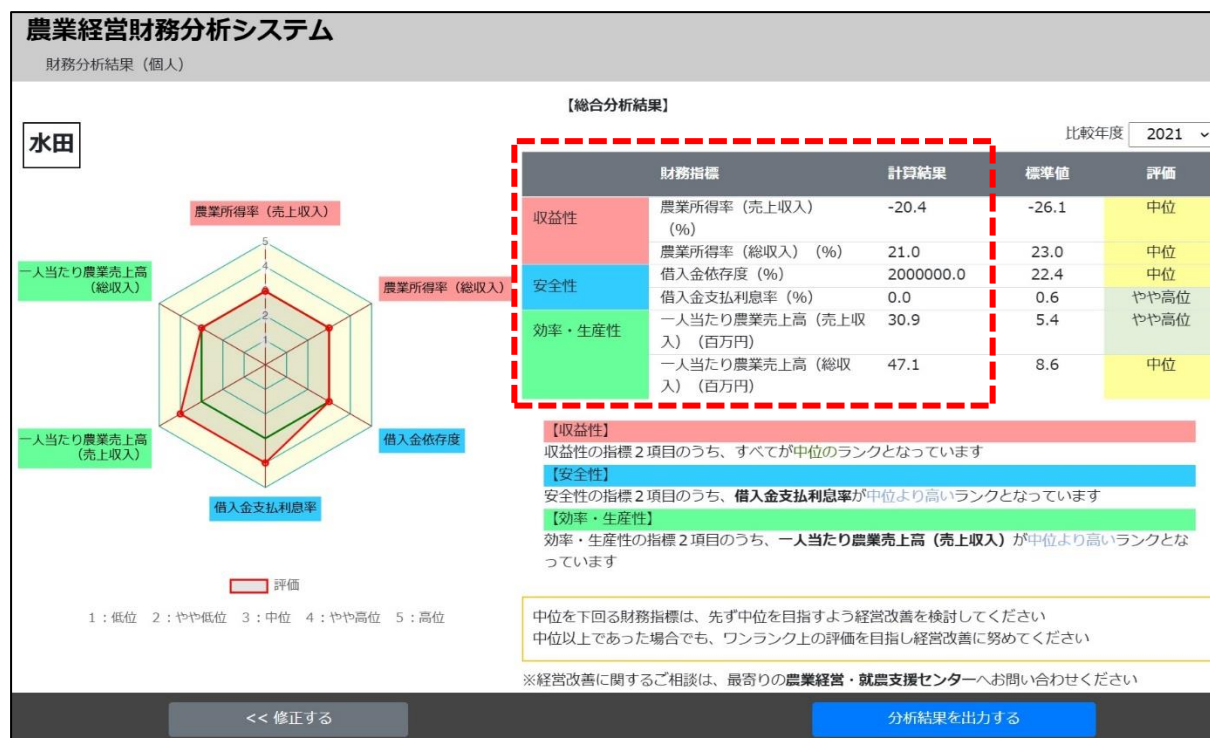
項目	項目コード	項目名	単位	金額
経費	1000	経費	円	1000
経費	2000	経費	円	2000
経費	3000	経費	円	3000
経費	4000	経費	円	4000
経費	5000	経費	円	5000
経費	6000	経費	円	6000
経費	7000	経費	円	7000
経費	8000	経費	円	8000
経費	9000	経費	円	9000
経費	10000	経費	円	10000
経費	11000	経費	円	11000
経費	12000	経費	円	12000
経費	13000	経費	円	13000
経費	14000	経費	円	14000
経費	15000	経費	円	15000
経費	16000	経費	円	16000
経費	17000	経費	円	17000
経費	18000	経費	円	18000
経費	19000	経費	円	19000
経費	20000	経費	円	20000
経費	21000	経費	円	21000
経費	22000	経費	円	22000
経費	23000	経費	円	23000
経費	24000	経費	円	24000
経費	25000	経費	円	25000
経費	26000	経費	円	26000
経費	27000	経費	円	27000
経費	28000	経費	円	28000
経費	29000	経費	円	29000
経費	30000	経費	円	30000
経費	31000	経費	円	31000
経費	32000	経費	円	32000
経費	33000	経費	円	33000
経費	34000	経費	円	34000
経費	35000	経費	円	35000
経費	36000	経費	円	36000
経費	37000	経費	円	37000
経費	38000	経費	円	38000
経費	39000	経費	円	39000
経費	40000	経費	円	40000
経費	41000	経費	円	41000
経費	42000	経費	円	42000
経費	43000	経費	円	43000
経費	44000	経費	円	44000
経費	45000	経費	円	45000
経費	46000	経費	円	46000
経費	47000	経費	円	47000
経費	48000	経費	円	48000
経費	49000	経費	円	49000
経費	50000	経費	円	50000
経費	51000	経費	円	51000
経費	52000	経費	円	52000
経費	53000	経費	円	53000
経費	54000	経費	円	54000
経費	55000	経費	円	55000
経費	56000	経費	円	56000
経費	57000	経費	円	57000
経費	58000	経費	円	58000
経費	59000	経費	円	59000
経費	60000	経費	円	60000
経費	61000	経費	円	61000
経費	62000	経費	円	62000
経費	63000	経費	円	63000
経費	64000	経費	円	64000
経費	65000	経費	円	65000
経費	66000	経費	円	66000
経費	67000	経費	円	67000
経費	68000	経費	円	68000
経費	69000	経費	円	69000
経費	70000	経費	円	70000
経費	71000	経費	円	71000
経費	72000	経費	円	72000
経費	73000	経費	円	73000
経費	74000	経費	円	74000
経費	75000	経費	円	75000
経費	76000	経費	円	76000
経費	77000	経費	円	77000
経費	78000			

[内容を確認する >>](#)

## 総合診断結果の表示画面へ（個人経営）

### 【STEP7（個人経営）】

入力データから計算された、①収益性、②安全性、③効率性・生産性に関連する財務指標が表示されます。

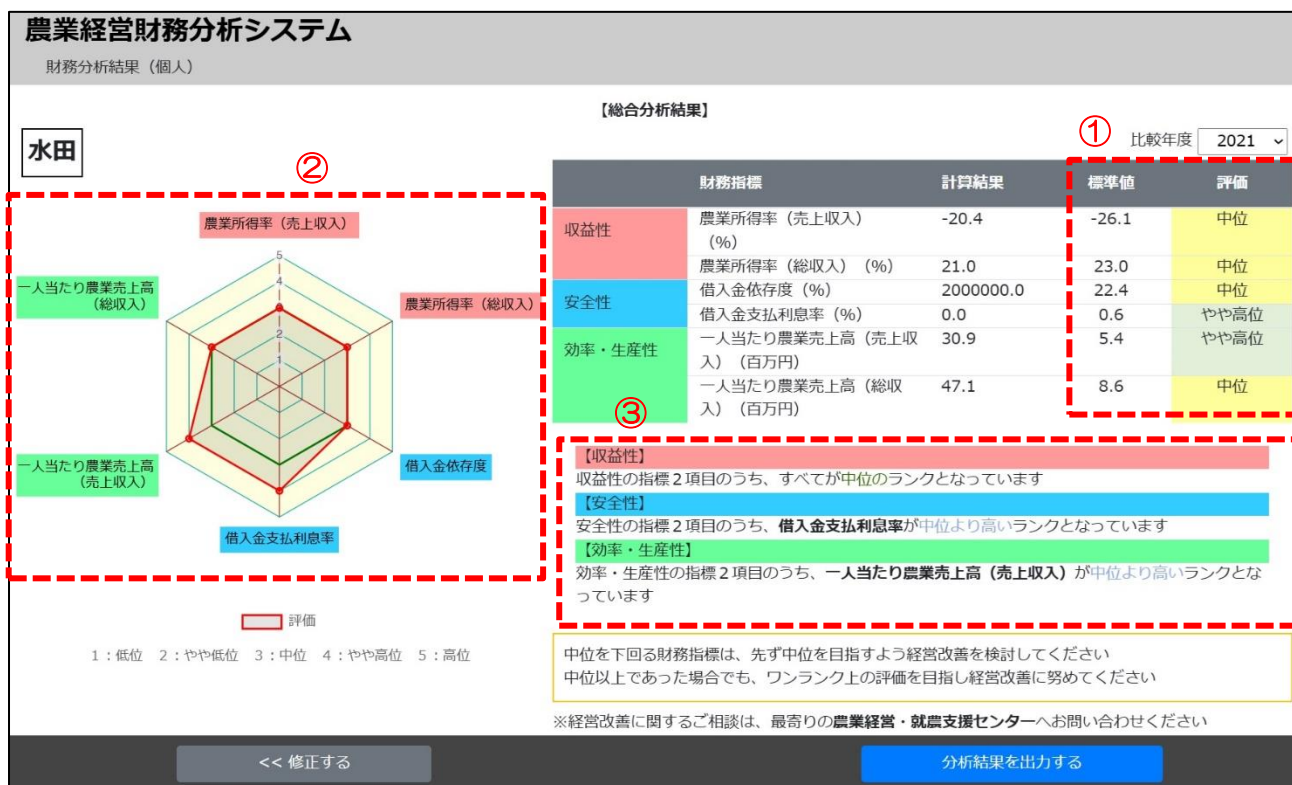


### 【計算される財務指標】

財務指標		計算式	概要
収益性	農業所得率（売上収入）（%）	$\text{農業所得} \div \text{農業粗収益} \times 100$	農産物の販売による収益性を示す。数値が高い方が良い。
	農業所得率（総収入）（%）	$\text{農業所得} \div \text{農業総収益} \times 100$	農産物販売以外も含めた経営全体の収益性を示す。数値が高い方が良い。
安全性	借入金依存度（%）	$\text{借入金} \div \text{資産計} \times 100$	総資産に占める借入金の比率を示す。数値が低い方が良い。
	借入金支払利息率（%）	$\text{利息割引料} \div \text{借入金} \times 100$	有利子負債の額の適正さを評価する。数値が低い方が良い。
効率性・生産性	一人当たり売上高（売上収入）（千円）	$\text{農業粗収益} \div \text{農業従事者数}$	従業員一人当たりどれだけ効率的に売上収入を生み出しているかを示す。数値が高い方が良い。
	一人当たり売上高（総収入）（千円）	$\text{農業総収益} \div \text{農業従事者数}$	従業員一人当たりどれだけ効率的に経営全体の収益を生み出しているかを示す。数値が高い方が良い。

また、農林水産省の統計データ（営農類型別経営統計：令和3年、令和4年）を用いて同じ営農類型に属する経営体の財務指標との自動比較が行われ、

- ① 他の経営体との比較による5段階のランク（低位、やや低位、中位、やや高位、高位）が表示されます。
- ② レダーチャートでも自身の経営の財務指標のランク区分を表示します。
- ③ 収益性、安全性、効率・生産性の財務指標の簡単な診断結果を表示します。



## 【ランク区分活用の際の留意点】

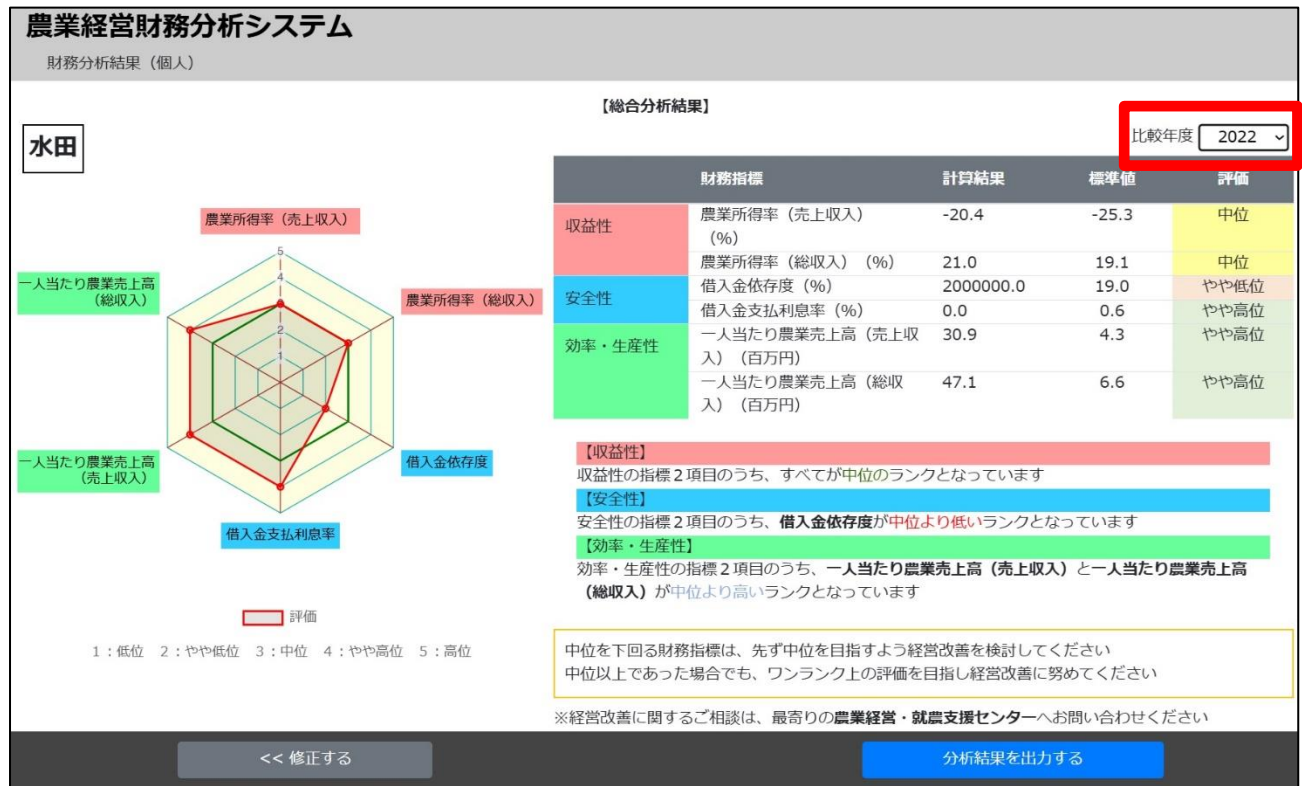
- 本ランク区分はご自身の経営を相対的に評価する目安としてご利用ください。
- 本ランク区分は特定年の統計データに基づくものであり、活用の際にはその年特有の状況も考慮する必要があります。
- 個々の農業法人の事業内容は様々であり、ランク区分が低いからといって必ず経営改善が必要ということではありません。

※ ランク区分の詳細な考え方については「6. ランク区分の考え方」を参照ください。



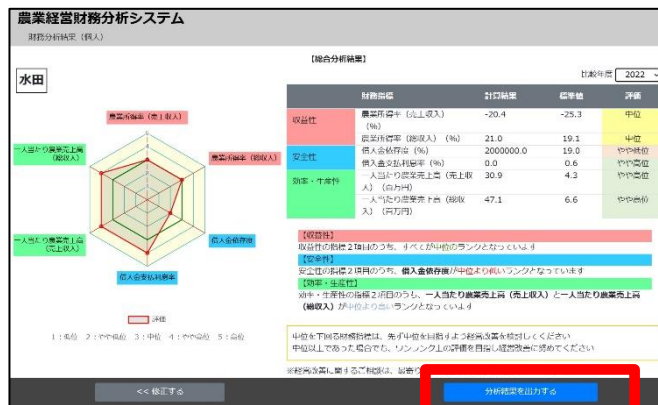
## 【STEP10（個人経営）】

ランク区分に用いる統計データを2022年の農林水産省データに変更し、自身のランクを確認したい場合は、「比較年度」を「2022年」に変更します。



## 【STEP11（個人経営）】

「分析結果を出力する」をクリックするとPDFが出力されます。



分析結果を出力する



## 5 財務指標の計算式

「農業経営財務分析システム」で計算される各財務指標の計算式は以下のとおりです。

### (1) 法人経営の財務指標

#### <収益性>

- ◇ 売上高総利益率 (%) =  $\text{売上総利益} / \text{売上高} \times 100$
- ◇ 売上高営業利益率 (%) =  $\text{営業利益} / \text{売上高} \times 100$
- ◇ 売上高経常利益率 (%) =  $\text{経常利益} / \text{売上高} \times 100$

#### <安全性>

- ◇ 自己資本比率 (%) =  $\text{自己資本} / \text{総資本}$ 
  - ・ 自己資本 = 純資産計
  - ・ 総資本 = 負債計 + 純資産計
- ◇ 売上高キャッシュフロー比率 (%) =  $(\text{税引き後当期純利益} + \text{減価償却費}) / \text{売上高} \times 100$

#### <生産性・効率性>

- ◇ 総資本回転率 (回) =  $\text{売上高} / \text{総資本}$
- ◇ 1人当たり売上高 (臨時雇用者除く) (千円) =  $\text{売上高} / \text{従業員数}$ 
  - ・ 従業員数 = 有給役員数 + 常用雇用者数

### (2) 個人経営の財務指標

#### <収益性>

- ◇ 農業所得率 (売上収入) (%) =  $\text{①農業所得 (売上収入)} / \text{②農業粗収益} \times 100$ 
  - ①農業所得 (売上収入) = ②農業粗収益 - ③農業経営費
  - ②農業粗収益 = 販売金額 + 家計・事業消費 + 農作物棚卸高 (期末一期首) + 農作業受託収入 (※雑収入のうち法人では「売上高」に計上されるもの)
  - ③農業経営費 = 経費合計 (※農業共済掛金等の項目に価格補填負担金、収入保険の保険料等の支出を含む) + 雑費 + 農産物以外棚卸高 (期首一期末) - 牛馬等育成費用

◇ 農業所得率（総収入）（％）

$$= \text{①農業所得（総収入）} / \text{②農業総収益} \times 100$$

$$\text{①農業所得（総収入）} = \text{①農業総収益} - \text{③農業経営費}$$

$$\text{②農業総収益} = \text{販売金額} + \text{家計・事業消費} + \text{雑収入} \\ + \text{農作物棚卸高（期末一期首）}$$

$$\text{③農業経営費：農業所得率（売上収入）③と同じ}$$

### <安全性>

◇ 借入金依存度（％）＝ 借入金／資産計 × 100

◇ 借入金支払利息率（％）＝ 利息割引料／借入金 × 100

### <生産性・効率性>

◇ 1人当たり売上高（売上収入）（千円）

$$= \text{農業粗収益} / \text{農業従事者数（経営者＋家族＋常用雇用者）}$$

◇ 1人当たり売上高（総収入）（千円）

$$= \text{農業総収益} / \text{農業従事者数（家族＋常用雇用者）}$$

## 6 ランク区分の考え方

「農業経営財務分析システム」では、農林水産省の営農類型別統計のデータを用いて、営農類型別に各財務指標について5段階のランク区分を作成しています。

ランク区分設定の詳細な方法を以下に記載します。

### (1) 法人経営のランク区分

#### ①使用データ（サンプルデータ）

農林水産省の「営農類型別経営統計」のうち、各営農類型における売上高1,000万円以上の法人経営体。

#### ②経営規模によるグループ分け

同一の営農類型のサンプルデータでも、様々な経営規模の法人が含まれることから、経営規模（総資産）に基づき、財務指標に明確な違いが認められる場合は、大規模と中小規模に分けてランク区分を作成しています。

具体的には、上記のサンプルデータの総資産の規模の四分位点を用いて、75パーセント以上（上位1/4）のサンプルを大規模、それ未満を中小規模とする2グループに分け、各財務指標でt検定を実施しました。

t検定で有意差が確認できれば、大規模と中小規模の2グループに分けランク区分を設定し、有意差が確認できない場合は規模区分は設定していません。

また、サンプル数が合計で30を下回る場合には規模区分は設定していません。

#### ③特異値の除外

営農類型や規模別で分類した上で、それぞれのグループで各財務指標を計算し、標準偏差（ $\sigma$ ）を算出します。標準正規分布を仮定して $3\sigma$ の範囲に収まらないサンプルについては外れ値として除外しています。

#### ④ランク区分（5段階）の設定

標準正規分布を仮定した場合、標準値（平均値）から $\pm 0.25$ 倍した標準偏差（ $\sigma$ ）の範囲に約20%のサンプルが分布し、標準値 $\pm 1.25\sigma$ 範囲内に約80%のサンプルが分布する特性を利用して以下の5段階のランク区分を作成しています。

- ◆ 低位      : ( $x < \text{標準値} - 1.25\sigma$ )
- ◆ やや低位 : ( $\text{標準値} - 1.25\sigma \leq x < \text{標準値} - 0.25\sigma$ )
- ◆ 中位      : ( $\text{標準値} - 0.25\sigma \leq x < \text{標準値} + 0.25\sigma$ )
- ◆ やや高位 : ( $\text{標準値} + 0.25\sigma \leq x < \text{標準値} + 1.25\sigma$ )
- ◆ 高位      : ( $\text{標準値} + 1.25\sigma < x$ )

## (2) 個人経営のランク区分

### ① 使用データ（サンプルデータ）

主業経営体（農業所得が主（世帯所得の 50%以上が農業所得）で、1 年間に自営農業に 60 日以上従事している 65 歳未満の世帯員がいる個人経営体）のうち貸借対照表を策定している経営体。

### ② 特異値の除外

営農類型で分類した上で、各営農類型ごとに財務指標を計算し、標準偏差（ $\sigma$ ）を算出します。標準正規分布を仮定して  $3\sigma$  の範囲に収まらないサンプルについては外れ値として除外しています。

### ③ ランク区分（5段階）の設定

標準正規分布を仮定した場合、標準値（平均値）から  $\pm 0.25$  倍した標準偏差（ $\sigma$ ）の範囲に約 20% のサンプルが分布し、標準値  $\pm 1.25\sigma$  範囲内に約 80% のサンプルが分布する特性を利用して以下の 5 段階のランク区分を作成しています。

- ◆ 低位      : ( $x < \text{標準値} - 1.25\sigma$ )
- ◆ やや低位 : ( $\text{標準値} - 1.25\sigma \leq x < \text{標準値} - 0.25\sigma$ )
- ◆ 中位      : ( $\text{標準値} - 0.25\sigma \leq x < \text{標準値} + 0.25\sigma$ )
- ◆ やや高位 : ( $\text{標準値} + 0.25\sigma \leq x < \text{標準値} + 1.25\sigma$ )
- ◆ 高位      : ( $\text{標準値} + 1.25\sigma < x$ )

※借入金依存度と借入金支払利息率については、数値が低い方が望ましいことから、数値が低いほうが高位となるようランク区分を逆にしている。

## 7 用語解説

### (1) 法人経営

項目	説明
営農分類	複数の営農類型で営農して場合は販売収入が最も多い類型を選択
資本金	株主等、出資者が拠出した資金
従業員数(臨時雇用除く)	有給役員数＋常用雇用者数
流動資産計	1年以内に現金化することが可能な資産の合計 現金、預金、売掛金、商品、原材料、未収入金等
固定資産計	1年以上保有する資産の合計土地・建物、商標権、投資有価証券等
繰延資産	創立費、開発費等、複数期に分けて計上する費用
流動負債計	1年以内に支払うことが予定されている負債の合計。買掛金、短期借入金、未払金等
固定負債計	1年以内に支払い義務が発生しない負債の合計。長期借入金
純資産計	資本金、資本剰余金、利益剰余金等の合計
売上高	売上の合計
売上総利益	売上高から売上原価を差し引いた金額
営業利益	売上総利益から販売及び一般管理費を差し引いた金額
経常利益	営業利益に営業外収益を加え、営業外費用を差し引いた金額
税引前当期純利益	経常利益に特別利益を加えて、特別損失を差し引いた金額
当期純利益	税引前当期純利益から法人税・住民税・事業税を差し引いた金額
減価償却費（売上原価）	製造原価報告書に計上された減価償却費の合計
減価償却費（販管費）	販売費及び一般管理費に計上された減価償却費の合計
売上高総利益率（％）	販売している商品の利益率を示す。粗利益率とも言う
売上高営業利益率（％）	本業の収益性を示す
売上高経常利益率（％）	本業以外も含めた企業全体の収益性を示す
自己資本比率（％）	中長期の財務安全性を示す低いと財務基盤が脆弱であることを意味する
売上高キャッシュフロー比率（％）	資金面の余裕を示す売上高に対するフリーキャッシュフロー（自由に利用可能な資金）の割合
1人当たり売上高（千円）	従業員一人当たりどれだけ効率的に売上高を生み出しているかを示す
総資本回転率（回）	総資本をどれだけ効率的に活用しているかを示す

## (2)個人経営

項目	説明
営農分類	複数の営農類型で営農を行っている場合は販売収入が最も多い類型を選択
従業員数（臨時雇用除く）	経営主＋家族＋常用雇用者数
販売金額	農畜産物の販売額の合計
実務消費 事務消費	農産物を家計や農業以外の事業で消費した金額
雑収入	作業受託料、経営所得安定対策交付金、価格補填金、受取共済金等
うち農作業受託収入	農作業受託による収入額
農産物の棚卸高 期首	期首時点で未販売の農産物の棚卸高
農産物の棚卸高 期末	期末時点で未販売の農産物の棚卸高
租税公課	農業に係る固定資産税、印紙税、組合・部会費、支払消費税等
種苗費	種子、苗の購入費
素畜費	肥育又は育成の素畜やヒナの代金、種付料、登録料
肥料費	肥料の購入費
飼料費	飼料の購入費
農具費	取得価額10万円未満又は耐用年数1年未満の農具の購入費
農薬衛生費	農薬・家畜薬品等の購入費や共同防除費
諸材料費	ビニール、縄、釘等の諸材料の購入費
修繕費	農業機械、車両、建物、施設等の修理費
動力光熱費	電気料、水道料、ガス代、ガソリン等の燃料費
作業用衣料費	作業衣、靴、帽子等の購入費
農業共済掛金等 （共済掛金、価格補填負担金、 収入保険の保険料他）	農業共済掛金、価格補填負担金、収入保険の保険料等
減価償却費	農用建物、農機具、車両、生物等固定資産の減価償却費
荷造運賃手数料	販売に要したダンボール等の資材代金、運賃、検査料等
雇人費	雇用労賃及び賄い費・交通費
利子割引料	借入金利息、手形割引料、債務保証料等
地代・賃借料	農地代、農用建物代金、共同施設の利用料等
土地改良費	客土・揚排水施設等の維持管理費

雑費	上記の各経費にあてはまらない費用
農産物以外の棚卸高 期首	未収穫農産物、販売用動物、種苗、肥料・農薬等の期首の棚卸高
農産物以外の棚卸高 期末	未収穫農産物、販売用動物、種苗、肥料・農薬等の期末の棚卸高
経費から差し引く果樹牛馬等の育成費用	未成熟果樹や育成牛等の育成に要した費用
資産合計	現金、預金、売掛金等の流動資産と土地・建物等の固定資産の合計
負債計	【買掛金】＋【借入金】＋【未払金】＋【前受金】＋【預り金】＋【貸倒引当金】
うち借入金	【借入金】の合計
純資産計	【事業主借】＋【元入金】＋【青色申告特別控除前の所得金額】
農業所得率（売上収入）	農産物の販売による収益性を示す
農業所得率（総収入）	農産物販売以外も含めた経営全体の収益性を示す
借入金依存度	総資産に占める借入金の比率を示す
借入金支払利息率	有利子負債の額の適正さを評価する指標
1人当たり農業所得（売上収入）	従業員一人当たりどれだけ効率的に売上収入を生み出しているかを示す
1人当たり農業所得（総収入）	従業員一人当たりどれだけ効率的に経営全体の収益を生み出しているかを示す